



平成30年9月27日

各 位

会 社 名 T I S株式会社
代表者名 代表取締役会長兼社長 桑野 徹
(コード番号3626 東証第1部)
問合せ先 経営管理部長 河村 正和
(Tel. 03-5337-4569)

特別損失及び特別利益の計上に関するお知らせ

当社は、平成30年9月27日開催の取締役会において、データセンター移転関連費用の一部負担及び投資有価証券の売却について決議しました。これに伴い、特別損失及び特別利益を計上することとなりましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. データセンター移転関連費用の一部負担理由及び特別損失の内容

(1) データセンター移転関連費用の一部負担理由

当社は平成27年9月30日付「特別損失及び特別利益の計上に関するお知らせ」のとおり、当社データセンター事業の今後の戦略を見直し、東阪地区におけるデータセンターを統合する方針を決定し、老朽化の進む旧型データセンターについては、将来的な閉鎖に向けて、利用顧客に対して新型データセンターへの移転提案等を順次進めてまいりました。

東京地区の旧型データセンターにおいては、利用規模の大きい特定顧客の移転が特に重要な要素であり、移転時期等の合意形成に向けて交渉してまいりましたが、その過程において当該特定顧客のデータセンター移転関連費用が巨額となることが判明しました。当社では、旧型データセンターの閉鎖を当初スケジュール通りに実現することが、閉鎖時期の延長に伴う追加費用発生という当社の将来的な収益悪化を回避するためには不可欠であるとの判断のもと、当該特定顧客のデータセンター移転関連費用の一部を当社にて負担することとし、当該負担額を特別損失に計上するものです。

本件は、一時的な費用負担となる一方で、当該特定顧客の当社データセンター利用の継続をはじめとする既存取引の維持のみならず、両社のさらなる関係強化に伴うデータセンター移転関連業務の受託や積極的なIT投資が見込まれる新規領域における取引拡大が期待できること等を総合的に勘案した結果、当社の中長期的な企業価値向上に資するものと考えています。

(2) 特別損失の内容 データセンター移転関連費用 88億円

2. 投資有価証券の売却理由及び特別利益の内容

(1) 投資有価証券の売却理由

資産効率性及び財務体質の向上を図る一環として、当社の保有する投資有価証券を売却することを決定し、売却益を特別利益に計上するものです。

(2) 売却資産 当社保有の上場有価証券 1銘柄

(3) 売却年月日 平成30年9月27日

(4) 特別利益の内容 投資有価証券売却益 100億円

3. 今後の見通し

本件によって計上する特別損失及び特別利益の影響を勘案した上で、当社の連結業績は概ね平成30年5月10日公表の計画に沿って推移しています。そのため、現時点での連結業績予想の修正はありません。

(参考) 当期連結業績予想(平成30年5月10日公表)及び前期連結実績

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円
当期連結業績予想 (平成31年3月期)	414,000	35,000	35,000	23,300
前期連結実績 (平成30年3月期)	405,648	32,743	32,795	20,620

以 上